



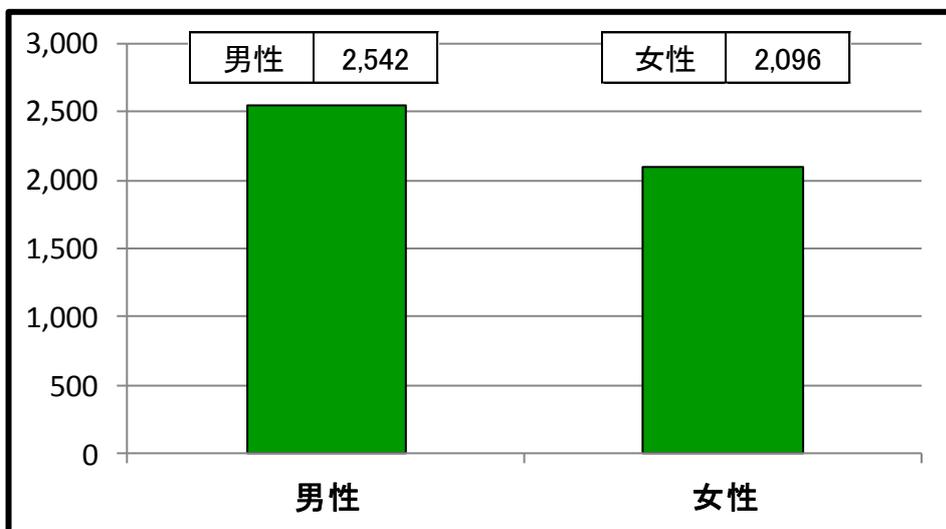
Q

薬局窓口での1回あたりの自己負担平均額はいくらですか？



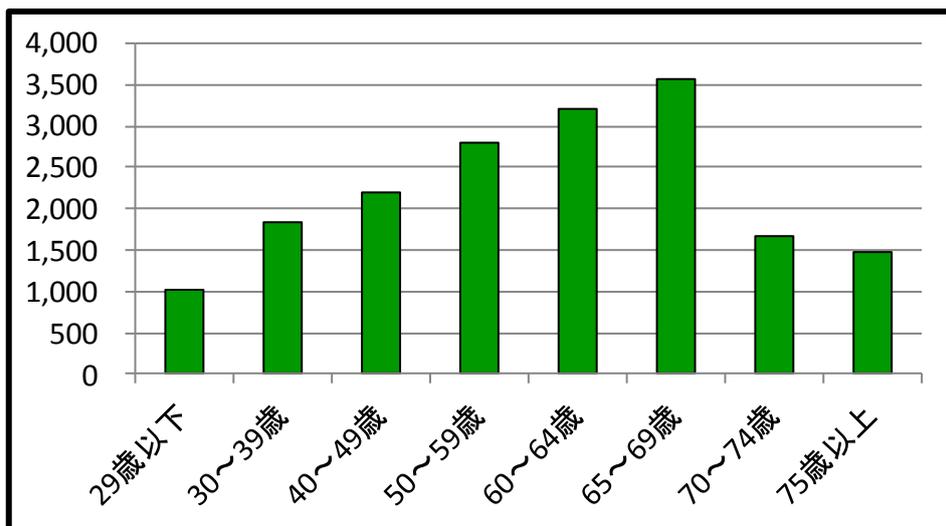
A

●男女別薬局窓口での1回あたりの自己負担平均額(単位：円)



●年齢別薬局窓口での1回あたりの自己負担平均額(単位：円)

| | |
|--------|-------|
| 29歳以下 | 1,020 |
| 30～39歳 | 1,833 |
| 40～49歳 | 2,200 |
| 50～59歳 | 2,788 |
| 60～64歳 | 3,208 |
| 65～69歳 | 3,557 |
| 70～74歳 | 1,677 |
| 75歳以上 | 1,478 |



データによると60歳代になると1回あたり3,000円を超えています。医療費出費としてこれが毎月つづくとなると家計には厳しいでしょう。

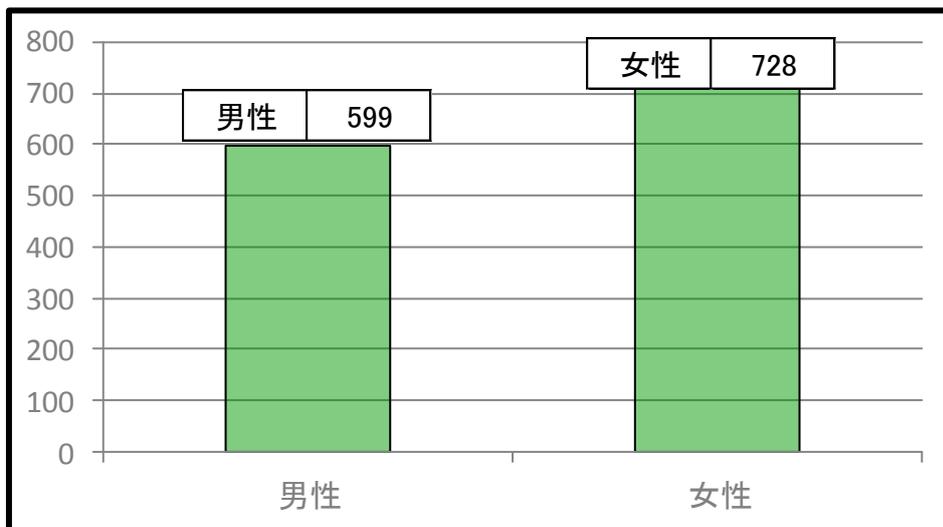
1回あたりの自己負担平均額とは：薬局窓口で患者が処方箋を提出し、薬代を支払いました。その金額がいくらかをアンケートに記載してもらいました。その金額を患者人数で割った金額が上記の金額です。



ジェネリック医薬品に変更したら薬代はいくらぐらい減るようになりましたか？

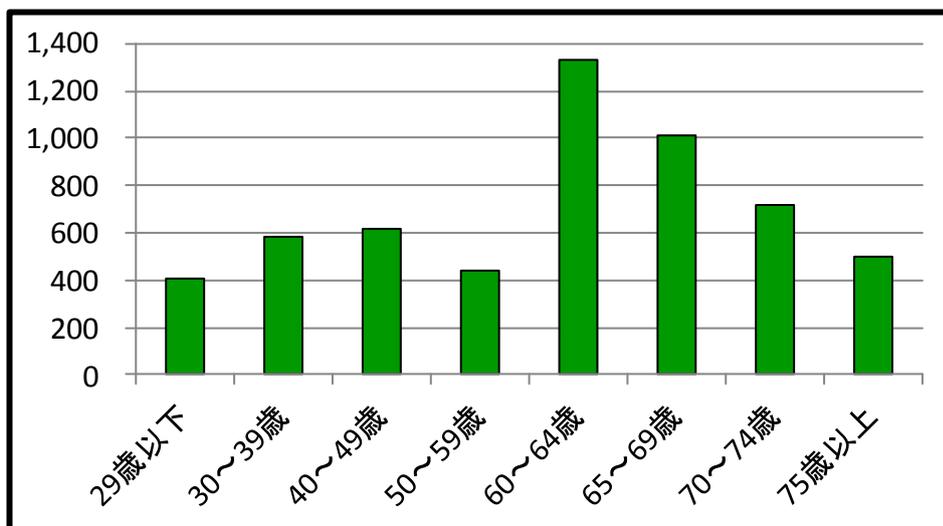


●男女別薬局窓口での1回あたりの薬代減少平均額(単位：円)



●年齢別薬局窓口での1回あたりの薬代減少平均額(単位：円)

| | |
|--------|-------|
| 29歳以下 | 404 |
| 30～39歳 | 585 |
| 40～49歳 | 618 |
| 50～59歳 | 444 |
| 60～64歳 | 1,333 |
| 65～69歳 | 1,010 |
| 70～74歳 | 720 |
| 75歳以上 | 500 |



60歳代ではジェネリック医薬品に変更すると薬代は約1,000円減少します。ところで、これだけ出費額が減少するジェネリック医薬品への関心度はどうなのでしょう？

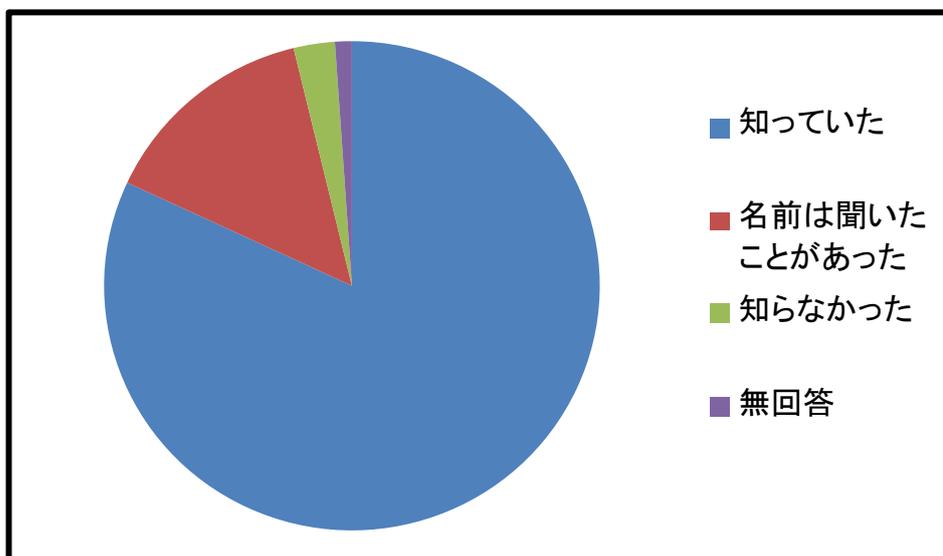
1回あたりの薬代減少平均額とは：薬局窓口で患者がジェネリック医薬品を受取りました。その金額と通常の薬代の金額を薬局に記載してもらいました。ジェネリック医薬品代と通常の薬代の差額金額を患者人数で割った金額が上記の減少金額です。



ジェネリック医薬品への認知度、関心度はどうなのですか？

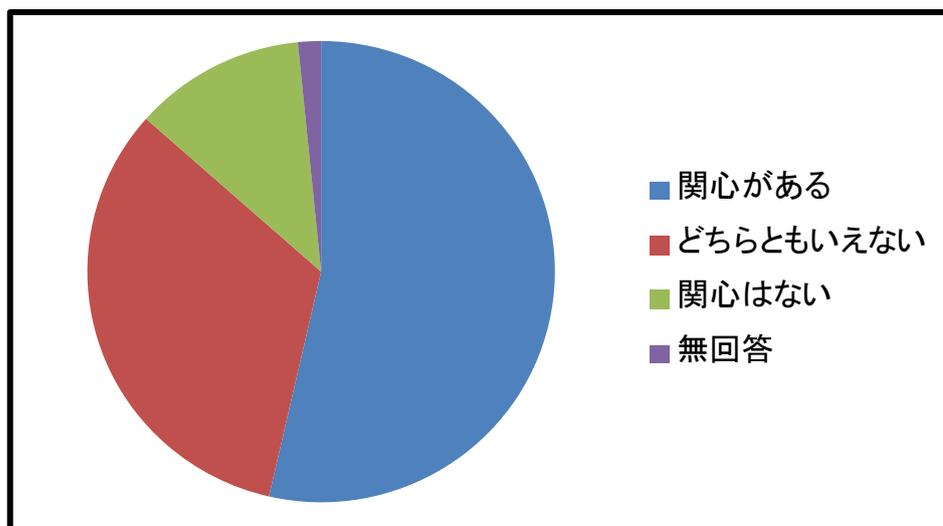


●ジェネリック医薬品に対する認知度



| | |
|--------------|-------|
| 知っていた | 81.9% |
| 名前は聞いたことがあった | 14.3% |
| 知らなかった | 2.7% |
| 無回答 | 1.1% |

●ジェネリック医薬品に対する関心度



| | |
|-----------|-------|
| 関心がある | 53.6% |
| どちらともいえない | 32.9% |
| 関心はない | 11.9% |
| 無回答 | 1.6% |

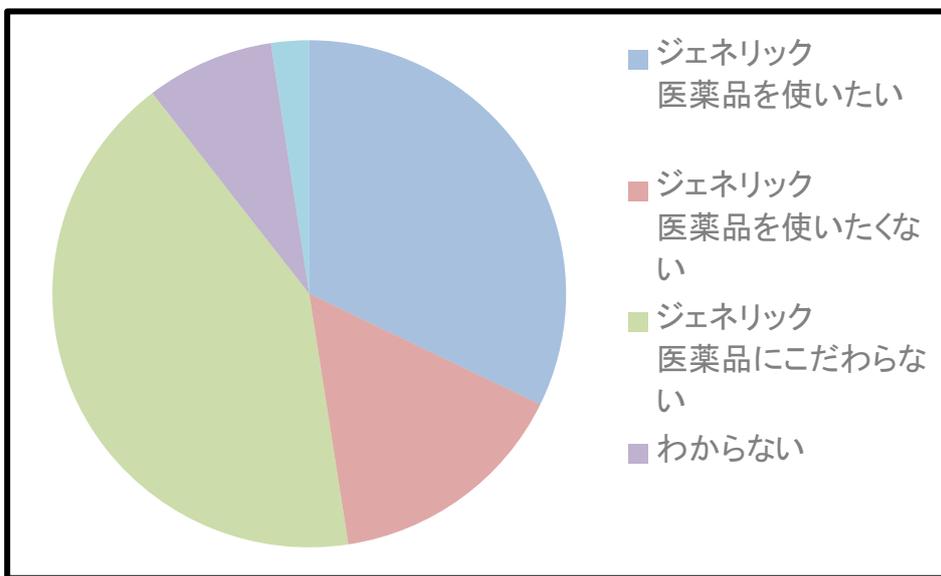
ジェネリック医薬品に対する認知度は80%を超える高さです。また、関心度も半数の関心があると回答しています。薬代が安くなり、認知度、関心度も高いならジェネリック医薬品に変更するのも高いと思われます。さて、データはどうでしょうか？



ジェネリック医薬品の使用に関する意識調査はどうですか？



●ジェネリック医薬品に対する関心度



| | |
|------------------|-------|
| ジェネリック医薬品を使いたい | 32.2% |
| ジェネリック医薬品を使いたくない | 15.4% |
| ジェネリック医薬品にこだわらない | 42.0% |
| わからない | 8.1% |
| 無回答 | 2.4% |

3頁でジェネリック医薬品に対する認知度は80%、関心度は50%以上。なのにジェネリック医薬品の使用に関する意識調査ではジェネリック医薬品を使いたい人は30%程度。もっと高くても当然と思われれます。では、この要因は为什么呢？ その回答は次号で解説します。